

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 23 年 10 月 4 日～平成 24 年 1 月 19 日

2 事業者情報

事業者名称（施設名）： 高館の園	種別：障がい者支援施設
代表者氏名：理事長 佐々木 昭一 管 理 者：施設長 伊藤 長	開設年月日 平成 6 年 4 月 1 日
設置主体：社会福祉法人 ともり会 経営主体：社会福祉法人 ともり会	定員（利用人員） 106 名（生活介護 50、施設入所 50、短期入所 6 名）
法人所在地：遠野市宮守町下鱒沢 33-216-5 TEL：0198-66-2576 FAX：0198-66-2524 事業所：遠野市宮守町下鱒沢 33-216-5 TEL：0198-66-2576 FAX：0198-66-2524	

3 総評

◇ 特に評価の高い点

○記名式による全職員参画の「アンケート」調査をふまえた中長期計画の立案への取組

法人の中長期計画策定専門委員会では、次期(第三期・平成 25 年度～)計画の立案に向けて、平成 23 年度 3 月「職員アンケート調査」を実施し、全職員(89 名)の参画(回収率 97.8%)を得て、①法人経営の基盤強化と地域に根差した事業展開、②人材確保と育成・職員処遇・働きやすい職場環境づくり一等の諸課題を明らかにする取組に着手している。

この調査の集計と分析はすでに公表され、次期計画の検討へ反映させることにしており、このような全職員の参画による法人・施設づくりを目指すアンケートから(肯定的意見、否定的意見、積極的提案、疑問や課題等々)すべてを汲み取ろうとする法人の積極性がうかがえる。当面する第二期計画の着実な実践とそれをふまえた次期計画立案にとって貴重な資料として活かされるよう期待する。

◇ 改善が求められる点

○サービス内容について定期的に評価を行う体制の整備

「サービス内容について定期的に評価を行う体制が整備され機能している」とは自己評価、第三者評価等の計画的な実施、評価を行った後の結果分析、分析内容についての検討までの仕組みが、組織として定められ実行されていることを指す。平成 19 年度から年 1 回自己評価を実施しているが、評価を定期的に行う体制は未整備といえる。サービス評価委員会が担当部署として設置されていることから、第三者評価受審を念頭においたうえで、委員会の目的や役割を具体的に定めた要領等の策定が望まれる。

また、評価を行う体制が整備されていないことから、取組むべき課題の明確化、改善策や改善計画の立案も困難となっている。自己評価については、全職員が全領域を評価し、それをもとに各部署でのすり合わせを行う方法をすでに取り入れていることから、これを有効に活用するための体制整備を期待したい。

自己評価結果の検討、課題の明確化、改善計画の立案が順序立てて実施されることにより、達成状況も把握しやすくなり、職員の意識向上、さらにはサービスの質向上にもつながっていく。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価事業を受審したことにより、成果や意義が明らかになり、職員全員の意識改革に繋がったと思います。

受審結果を真摯に受け止め、改善すべき点については解決課題に取り組み、評価をいただいた点については継続できるよう施設全体で取り組み、利用者支援がより一層充実、発展できるよう努めていきたいと思っています。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)